学校番号	1008

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)現代文	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選論理国語」（東京書籍） 「文学国語」（東京書籍）						
副教材等	「入試頻出漢字＋現代文重要語彙　ＴＯＰ２５００　四訂版」（いいずな書店） 「イラストとネットワーキングで覚える　現代文単語　げんたん　改訂版」（いいずな書店） 「カラー版　新国語便覧」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考え、発言していくための活動を行います。
・多くの文章を通して、「読む能力」と「書く能力」をしっかりと身につけ、それらを活用して著者の考えを理解し、自身の考えを他者に上手に伝える力を身につけてください。
・家庭学習における課題は、随時提出してもらいます。最後まで丁寧にしっかりと取り組みましょう。
・授業中のノートについては、板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自身で気づいたこと、自身で調べた内容、クラスメイトの発言した内容などを記入し、自身だけではなく他者が見ても整理していると思えるようなノートに仕上がることを目標にしましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育むことをめざす。
【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な漢字や語句を豊かにし、その意味を理解し適切に使っている。	他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、他者の意見に耳を傾け、協働することができる。	言葉を通じて、積極的に他者と関わったり思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値を理解し、言葉を効果的に使うことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。 ［教材］ ミロのヴィーナス	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[書]：「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 課題 ノート	ワークシート 課題 ノート 振り返りシート 行動の確認
	本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。 ［教材］ 科学的「発見」とは	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：文章の内容から読み取れる筆者の意図について粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 課題 ノート	ワークシート 課題 ノート 振り返りシート 行動の確認
	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 ［教材］ 山月記	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 c：文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 課題 ノート	ワークシート 課題 ノート 振り返りシート 行動の確認
二学期	挙げられている事例と筆者の分析の関係に注意して読み、人間関係の在り方について考えを深める。 ［教材］ メディアの変容	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：「メディアと人間関係の在り方」について積極的に読み解いたうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 課題 ノート	ワークシート 課題 ノート 振り返りシート 行動の確認
	「環世界」などの概念に注意しながら筆者の主張を理解し、環境について理解を深める。 ［教材］ 「環境」とは何か	a：主張とその前提や反証など自然環境と社会環境との関係について理解を深めている。 b[書]：「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 c：「人間にとっての環境」の意味を積極的に読み解いたうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 課題 ノート	ワークシート 課題 ノート 振り返りシート 行動の確認

	人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。 ［教材］ こころ	a:文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:登場人物の境遇や、それぞれの人物関係を押さえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 課題 ノート	ワークシート 課題 ノート 振り返りシート 行動の確認
三学期	筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。 ［教材］ 消費されるスポーツ	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 課題 ノート	ワークシート 課題 ノート 振り返りシート 行動の確認
	提示される地図に注目して論の展開を押さえ、地図に対する筆者の考えを読み取る。 ［教材］ 地図の想像力	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]:「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 c:課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 課題 ノート	ワークシート 課題 ノート 振り返りシート 行動の確認

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間